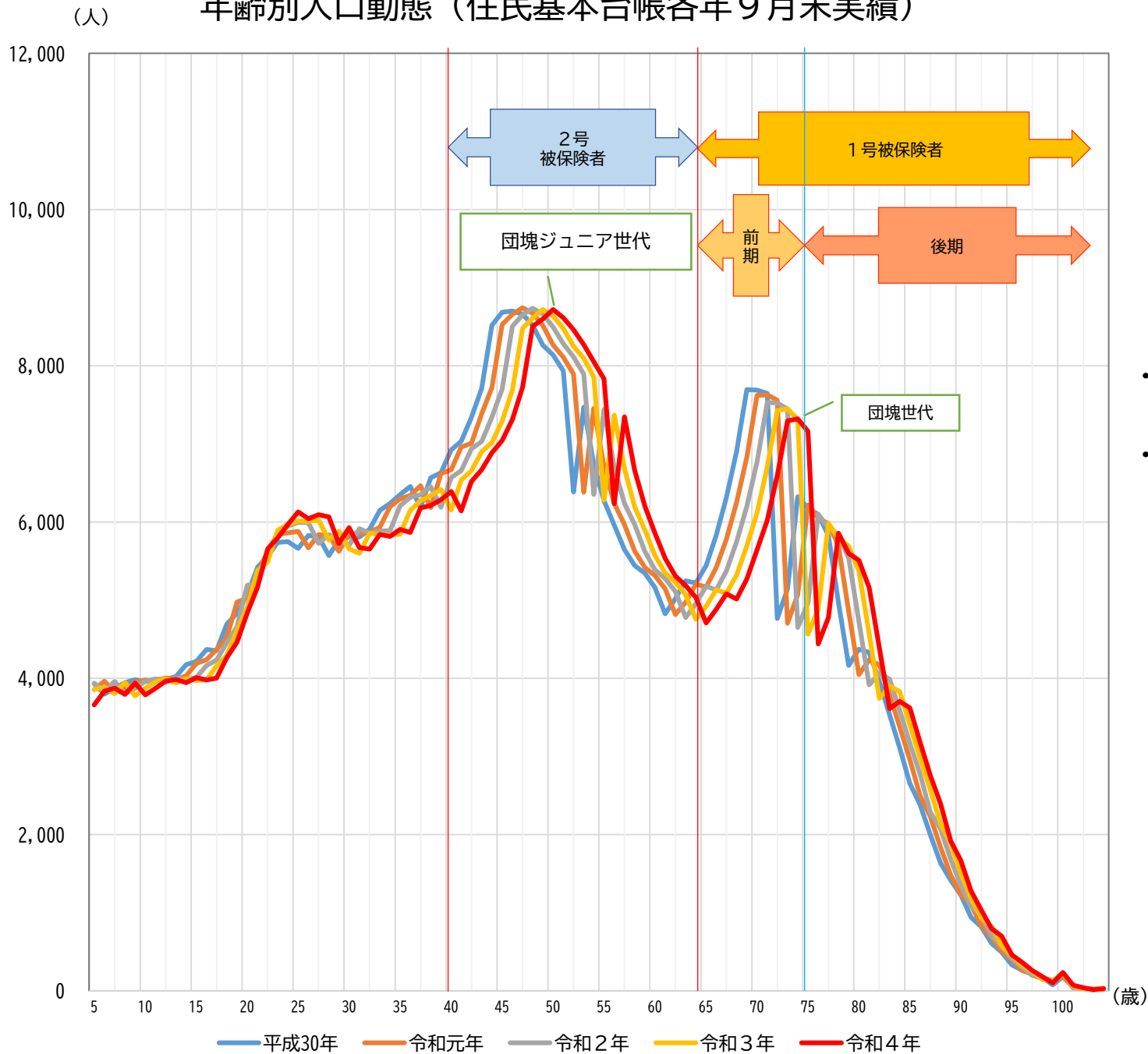


いきいき安心プランⅧまつど（案）

（第1章・第4章の概要）

令和5年度第2回松戸市高齢者保健福祉推進会議
令和5年10月23日(月)

年齢別人口動態（住民基本台帳各年9月末実績）



松戸市の人口動態について

過去5年間の実績
(平成30年度～令和4年度
9月末住民基本台帳人口)

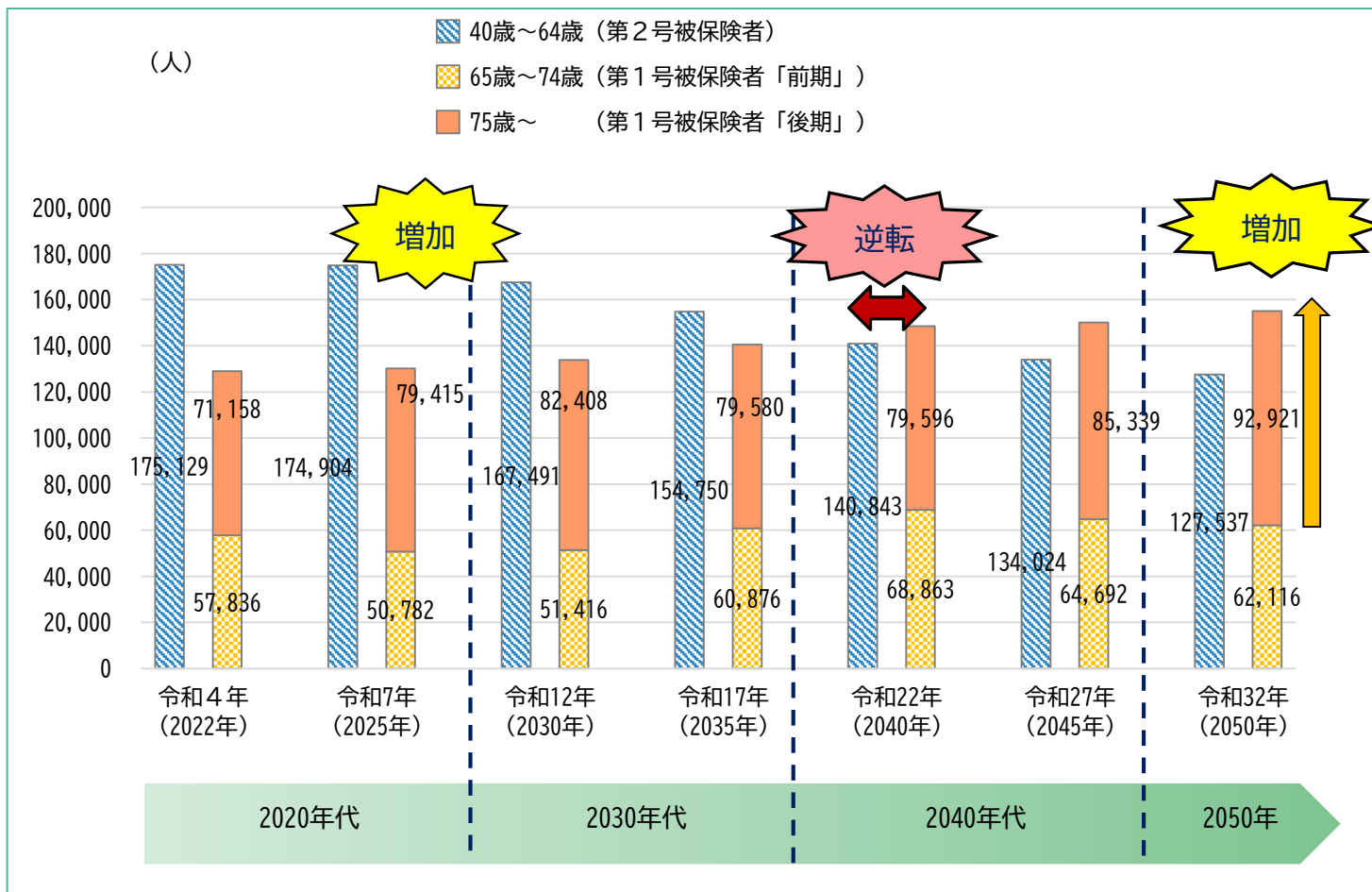
- ・ 団塊世代が75歳に到達
- ・ 団塊ジュニア世代は50歳に到達



団塊世代 < 団塊ジュニア世代

今後さらなる高齢化

◇ 松戸市における40歳以上人口の推計



- ① 各年10月1日現在
- ② 令和4年度は住民基本台帳人口の実績
- ③ 令和7年度以降は、厚生労働省の『地域包括ケア「見える化」システム』（第9期暫定版）による年齢階層ごとの推計値の変化率を基に住民基本台帳人口に置き換え算出。

令和7年(2025年)

団塊世代が全て75歳以上
(後期高齢者)

↓
75歳以上人口の **増加**

令和22年(2040年)

- ・ 団塊ジュニア世代が65歳に到達し65歳以上74歳以下人口がピーク
- ・ 40歳以上64歳以下人口の大幅な減少

↓
第2号被保険者人口
< 第1号被保険者人口 **逆転**

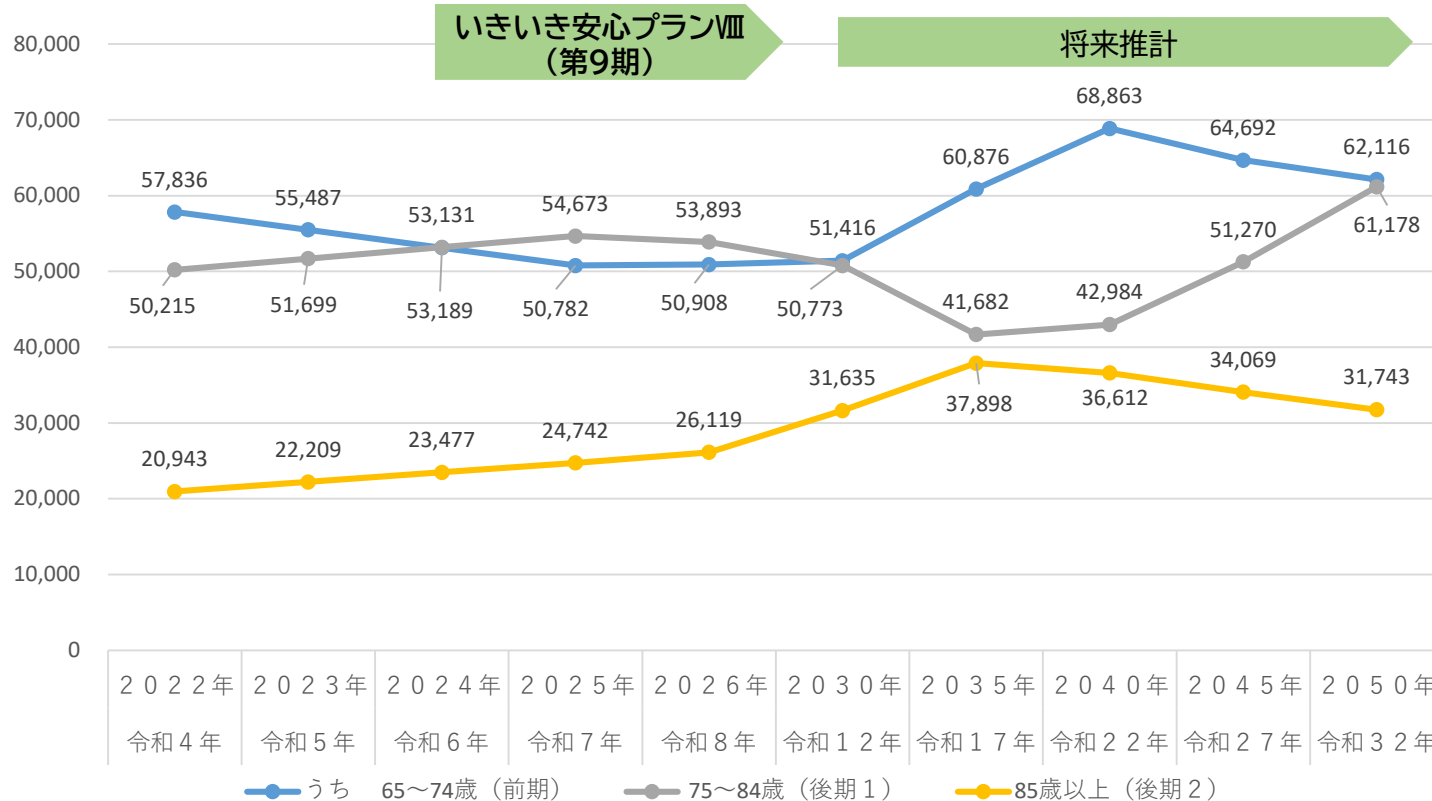
令和32年(2050年)

- ・ 団塊ジュニア世代が75歳に到達

↓
75歳以上人口が **増加**

人

65歳以上人口の現状と将来推計

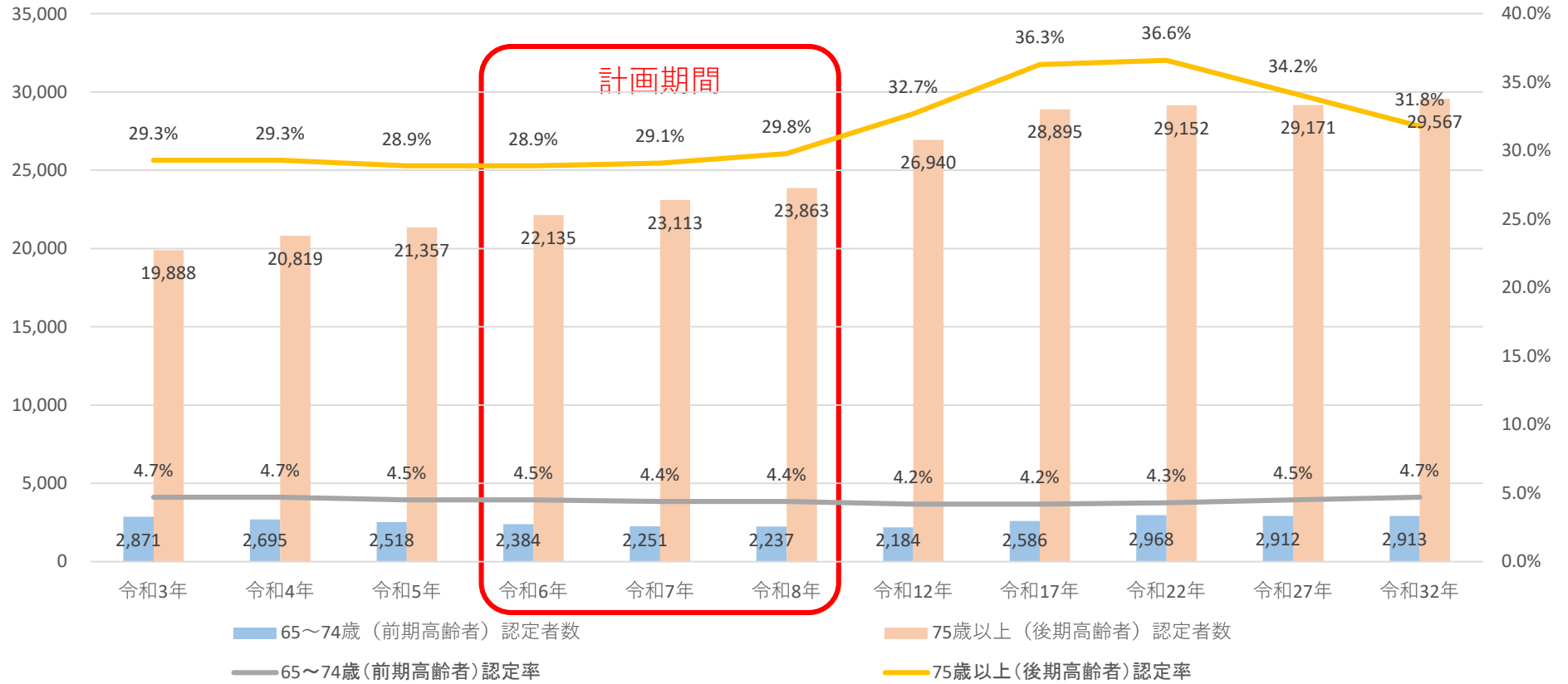


(人)

介護保険事業計画 年度	第8期		第9期				将来推計			
	令和4年 2022年	令和5年 2023年	令和6年 2024年	令和7年 2025年	令和8年 2026年	令和12年 2030年	令和17年 2035年	令和22年 2040年	令和27年 2045年	令和32年 2050年
65歳以上	128,994	129,395	129,797	130,197	130,920	133,824	140,456	148,459	150,031	155,037
うち 65~74歳 (前期)	57,836	55,487	53,131	50,782	50,908	51,416	60,876	68,863	64,692	62,116
75~84歳 (後期1)	50,215	51,699	53,189	54,673	53,893	50,773	41,682	42,984	51,270	61,178
85歳以上 (後期2)	20,943	22,209	23,477	24,742	26,119	31,635	37,898	36,612	34,069	31,743

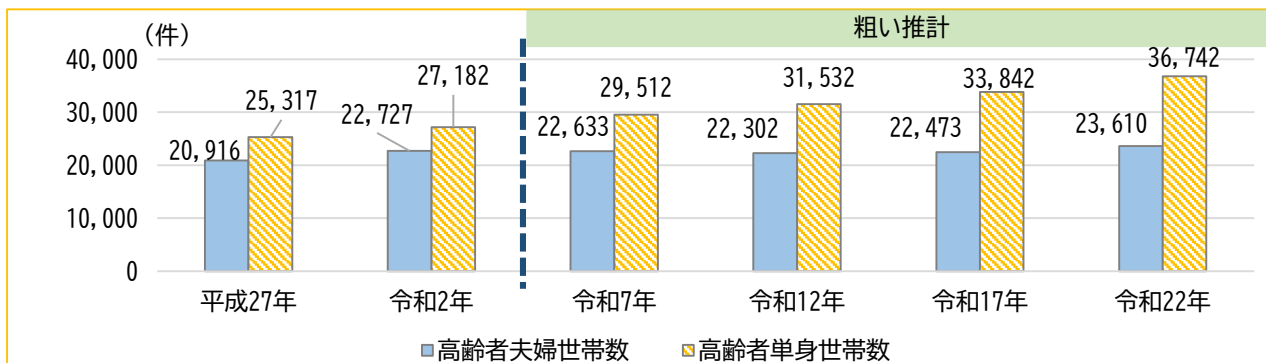
- ① 各年10月1日現在
- ② 令和4年は住民基本台帳人口の実績
- ③ 令和5年以降は、厚生労働省の『地域包括ケア「見える化」システム』（第9期暫定版）による年齢階層ごとの推計値の変化率を基に住民基本台帳人口に置き換え算出。
- ④ 令和5年は更新予定（更新前は令和4年の実績となっている）、令和6年以降も同時に更新予定
- ⑤ 第8期介護保険事業計画期間より、85歳以上人口関連が、保険料算出のために、補正補数として活用されるようになった。
- ⑥ 将来推計は5年間の推計

◇ 65歳以上（前期・後期） 要介護者・要支援者の現況と将来推計



	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年	令和32年
65～74歳（前期高齢者）認定者数	2,871	2,695	2,518	2,384	2,251	2,237	2,184	2,586	2,968	2,912	2,913
75歳以上（後期高齢者）認定者数	19,888	20,819	21,357	22,135	23,113	23,863	26,940	28,895	29,152	29,171	29,567
合計	22,759	23,514	23,875	24,519	25,364	26,100	29,124	31,481	32,120	32,083	32,480
65～74歳（前期高齢者）認定率	4.7%	4.7%	4.5%	4.5%	4.4%	4.4%	4.2%	4.2%	4.3%	4.5%	4.7%
75歳（後期高齢者）認定率	29.3%	29.3%	28.9%	28.9%	29.1%	29.8%	32.7%	36.3%	36.6%	34.2%	31.8%

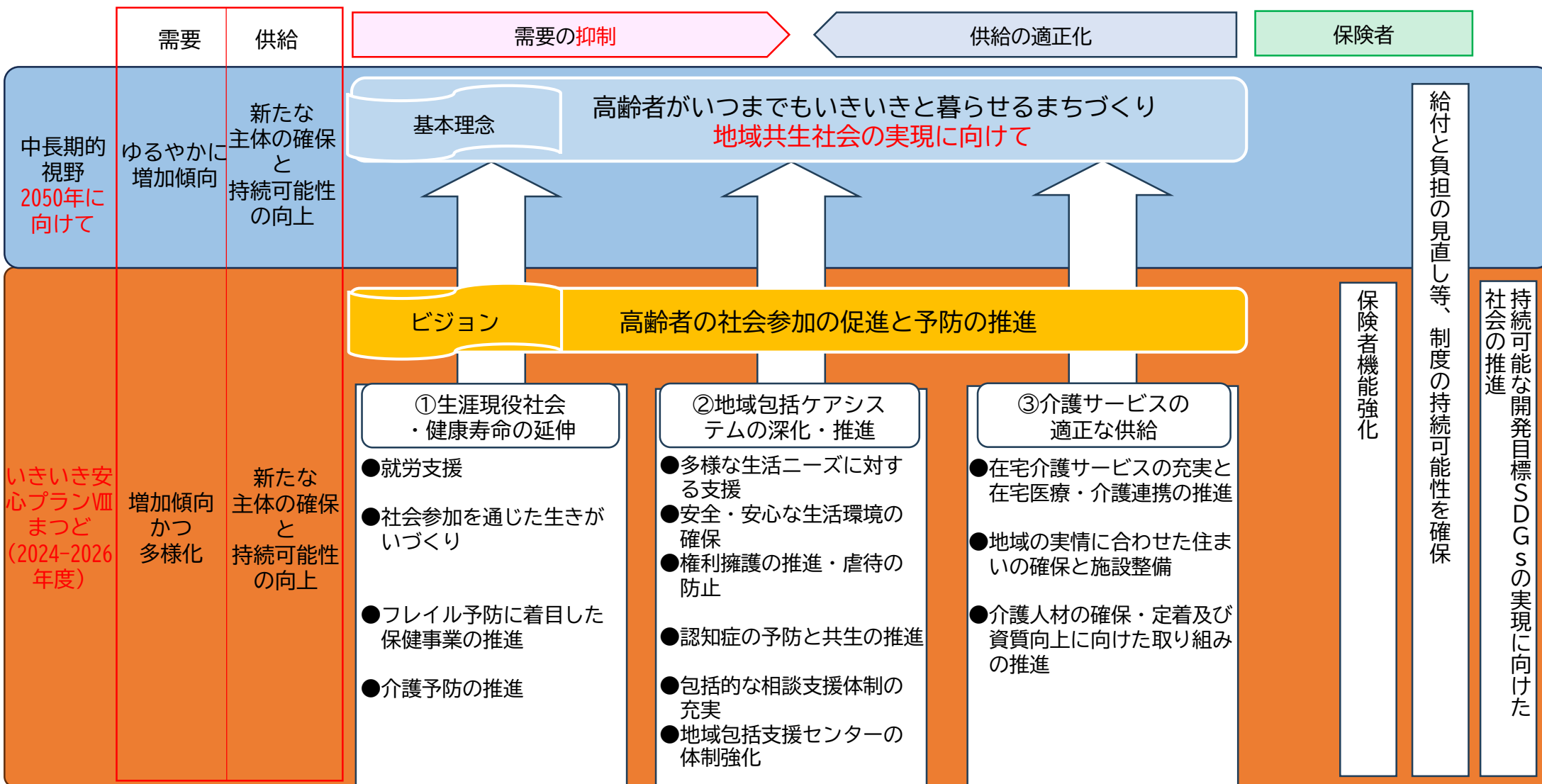
◇ 高齢者世帯の現況と粗い推計



		国勢調査結果		粗い推計			
		平成27年 2015	令和2年 2020	令和7年 2025	令和12年 2030	令和17年 2035	令和22年 2040
総世帯数		215,627	231,195	232,894	231,190	227,001	221,724
高齢者夫婦世帯	世帯数	20,916	22,727	22,633	22,302	22,473	23,610
	総世帯数に占める割合	9.7%	9.8%	9.7%	9.6%	9.9%	10.6%
高齢者単身世帯	世帯数	25,317	27,182	29,512	31,532	33,842	36,742
	総世帯数に占める割合	11.7%	11.8%	12.7%	13.6%	14.9%	16.6%

- ① 高齢者夫婦世帯とは、夫婦とも65歳以上の世帯
- ② 平成27年・令和2年は、国勢調査（各年10月1日現在）の結果により算出
- ③ 令和7年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）」（2019年推計）を用いた粗い推計

次期計画「いきいき安心プランⅧまつど」（2024（R6）-2026（R8））の骨子（案）



○ 計画の柱1 生涯現役社会・健康寿命の延伸

施策1 生涯現役社会の実現に向けた多様な就労・社会参加支援の促進

(1) 生涯現役社会の実現に向けた就労支援の推進

- ① 就労に関する説明会・再雇用促進セミナー開催による就労活動の支援
- ② ハローワーク等との連携による就労支援の推進
- ③ シルバー人材センターを通じた就労支援の推進

指標	単位	基準値	目標値		
		R4年度	R6年度	R7年度	R8年度
シルバー人材センター就業実人数	人	1,644	1,697	1,714	1,732

(2) 社会参加を通じた生きがいづくり

- ① 社会参加を通じて地域に貢献するボランティア活動の支援と参加促進
- ② ボランティアセンター・地区社会福祉協議会の活動支援
- ③ 「千葉県生涯大学校」や「まつど生涯学習大学講座」等を通じた生涯学習活動の推進
- ④ 「シニアクラブ(老人クラブ)」の運営・活動の支援

指標	単位	基準値	目標値		
		R4年度	R6年度	R7年度	R8年度
介護支援ボランティアの登録者数	人	532	593	661	737

施策2 健康寿命の延伸に向けた介護予防・重度化防止の推進

(1) フレイル予防に着目した保健事業の推進

- ① 通いの場等におけるフレイル・オーラルフレイル予防の推進
- ② 高齢者へのアウトリーチによる個別的支援
- ③ 健康推進員・食生活改善サポーターを通じた普及啓発
- ④ 疾病予防・重症化予防の推進

指標	単位	基準値	目標値		
		R4年度	R6年度	R7年度	R8年度
要介護・要支援申請時の年齢	歳	80.7	80.8	80.9	81.0

(2) 介護予防の推進

- ① 高齢者の実態把握と介護予防の取組みの周知
- ② 介護予防教室の推進
- ③ 住民主体の通いの場の推進
- ④ 事業対象者等が参加できる住民主体の活動の場の創設
- ⑤ 介護予防に関する普及啓発
- ⑥ 介護予防サービスの推進
- ⑦ 都市型介護予防モデル「松戸プロジェクト」の推進

指標	単位	基準値	目標値		
		R4年度	R6年度	R7年度	R8年度
ソーシャルキャピタル(社会参加)得点	点	60.2	74.3		

○ 計画の柱2 地域包括ケアシステムの深化・推進

施策1 地域共生社会に向けた支えあいによる地域づくり

(1) 多様な生活ニーズに対する支援

- ① 多機能コーディネーターの活動促進と地域互助による支えあいの仕組づくり
- ② 日常生活支援の充実
- ③ 生活支援サービスの推進
- ④ 地域リハビリテーション支援体制の構築

(2) 安全・安心な生活環境の確保

- ① 避難行動要支援者名簿を活用した避難支援体制の整備
- ② 避難生活時の支援体制の整備
- ③ 地域と連携した防犯対策の実施
- ④ 高齢者に対する交通安全対策の推進
- ⑤ 感染症対策の推進
- ⑥ 公共施設のバリアフリー化の推進
- ⑦ 「松戸市交通バリアフリー基本構想」に基づく公共交通機関等のバリアフリー化の推進
- ⑧ 多様な見守りネットワーク構築の推進

(3) 権利擁護の推進

- ① 「松戸市虐待防止条例」施行に伴う虐待防止のさらなる推進
- ② 高齢者虐待防止対策の推進
- ③ 成年後見制度の利用推進体制の充実
- ④ 関係機関との連携による消費者被害の防止の推進

指標	単位	基準値	目標値		
		R4年度	R6年度	R7年度	R8年度
各種協力事業者数	か所	77	85	91	100

指標	単位	基準値	目標値		
		R4年度	R6年度	R7年度	R8年度
虐待通報先の認知度(一般高齢者)	%	16	18		

○ 計画の柱2 地域包括ケアシステムの深化・推進

施策2 認知症施策の総合的な推進

(1) 普及啓発・本人発信支援

- ① 認知症に関する理解促進
- ② 認知症の人からの発信支援

(2) 認知症予防の推進

- ① 早期把握・早期対応

(3) 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

- ① 認知症初期集中支援チーム(オレンジサポートチーム)による支援
- ② 多職種連携とネットワーク強化
- ③ 認知症の人の安全対策と介護者支援

(4) 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

- ① あんしん一声運動の推進
- ② 若年性認知症の人への支援
- ③ 認知症の人の社会参加支援

指標	単位	基準値	目標値		
		R4年度	R6年度	R7年度	R8年度
認知症相談窓口の認知度(若年者)	%	19.1	25		

指標	単位	基準値	目標値		
		R4年度	R6年度	R7年度	R8年度
オレンジ協力員のうち実活動人数	か所	382	420	462	508

○ 計画の柱2 地域包括ケアシステムの深化・推進

施策3 地域包括支援センターの体制強化

(1) 包括的な相談支援体制の充実

- ① 相談窓口の普及啓発による利用の促進
- ② 包括的な相談支援体制(属性や世代を問わない相談窓口)の推進
- ③ 共生的な視点を持った連携強化

(2) 地域包括支援センターの体制強化

- ① 事業評価を通じた業務改善の推進
- ② 地域ケア会議を活用した課題解決力の強化
- ③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援の充実

指標	単位	基準値	目標値		
		R4年度	R6年度	R7年度	R8年度
多分野に関わる課題を抱えた相談件数	件	809	869	929	989

指標	単位	基準値	目標値		
		R4年度	R6年度	R7年度	R8年度
個別支援以外での他分野の支援機関との連絡調整件数	件	414	474	534	594

○ 計画の柱3 介護サービスの適正な供給

施策1 在宅介護サービスの充実と在宅医療・介護連携の推進

(1) 在宅介護サービスの整備・充実

- ① 小規模多機能型居宅介護の整備
- ② 看護小規模多機能型居宅介護の整備
- ③ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備
- ④ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の整備
- ⑤ 既存資源を活用したサービスの整備・充実

(2) 家族介護支援の推進

- ① 介護者のつどいの推進
- ② 家族介護講座の開催
- ③ 介護用品支給事業の実施

(3) 介護サービスの質の確保・向上

- ① 事業所団体研修の支援
- ② 介護支援専門員(ケアマネジャー)の確保・育成
- ③ 介護支援専門員(ケアマネジャー)の資質向上支援
- ④ 介護サービス相談員の派遣
- ⑤ 介護現場のリスクマネジメント

(4) 切れ目のない医療と介護の提供体制の構築推進

- ① 在宅医療提供体制の構築推進
- ② 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- ③ アウトリーチ(訪問支援)等の支援
- ④ 医療・介護連携における情報共有の推進

指標	単位	基準値	目標値		
		R4年度	R6年度	R7年度	R8年度
特別養護老人ホーム、グループホーム、地域密着型サービス事業所の定員数	人		調整	中	

※松戸市総合計画KPI

指標	単位	基準値	目標値		
		R4年度	R6年度	R7年度	R8年度
かかりつけ医が市内にいる方の割合(一般高齢者)	%	76.8中		78.0	

○ 計画の柱3 介護サービスの適正な供給

施策2 地域の実情に合わせた住まいの確保と施設整備

(1) 地域の実情に合わせた高齢者向け住まいの確保

- ① 多様化する高齢者向け住まいにおける需給状況の把握
- ② 高齢者向け住まいにおける介護サービス提供体制の把握
- ③ 高齢者向け住まいに関する情報の提供

(2) 住宅環境の整備

- ① 高齢者住宅改修資金助成事業等の実施
- ② シルバーハウジング入居者への支援
- ③ ケアハウス・養護老人ホームの運営
- ④ 公的高齢者住宅の供給
- ⑤ 「空き家」の活用等の検討

(3) 地域の実情に合わせた施設・居住系サービスの整備

- ① 特別養護老人ホームの整備の検討
- ② 介護老人保健施設の整備の検討
- ③ 介護医療院の整備の検討
- ④ 特定施設入居者生活介護の整備の検討

指標	単位	基準値	目標値		
		R4年度	R6年度	R7年度	R8年度
特別養護老人ホーム、グループホーム、地域密着型サービス事業所の定員数	人		調整	中	

※再掲 松戸市総合計画KPI

○ 計画の柱3 介護サービスの適正な供給

施策3 介護人材の確保・定着及び資質向上に向けた取り組みの推進

(1) 多様な人材の参入促進

- ① 市内事業者のマッチング事業(合同就職相談会)の支援
- ② 介護人材育成事業を通じた未経験者の参入促進
- ③ 新たな人材の参入促進
- ④ 外国人介護人材の活用支援
- ⑤ 介護のイメージアップ促進

(2) 介護人材定着のための取り組み支援と資質向上支援

- ① 労働環境改善支援
- ② 処遇改善取り組み支援
- ③ 介護人材のスキルアップ支援

(3) 介護現場の生産性向上

- ① 介護事務の負担軽減に向けた取り組み
- ② ワークシェアリングの検討
- ③ 介護現場の業務効率化および業務軽減

指標	単位	基準値	目標値		
		R4年度	R6年度	R7年度	R8年度
介護人材育成事業利用者数	人	61	62	67	73

※松戸市総合計画KPI

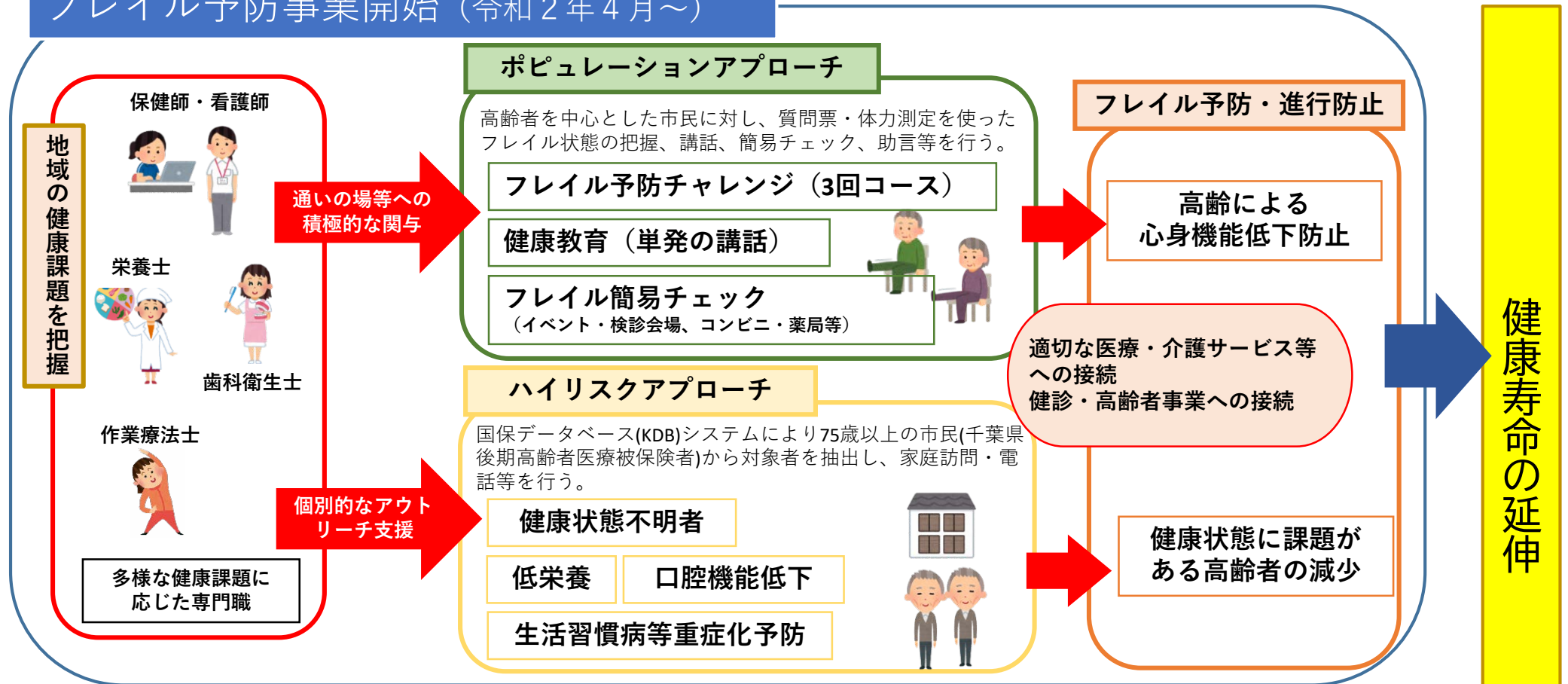
重点となる施策について (イメージ)

柱1 生涯現役社会・健康寿命の延伸

◆ フレイル予防に着目した保健事業の推進

加齢とともに心身の機能が低下し、要介護状態に至る前段階である
フレイルを予防するためには、早期からの運動、栄養、社会参加が重要

フレイル予防事業開始（令和2年4月～）



高齢者事業（介護予防・社会参加関連）

介護予防教室・認知症予防教室等

介護予防・日常生活支援総合事業

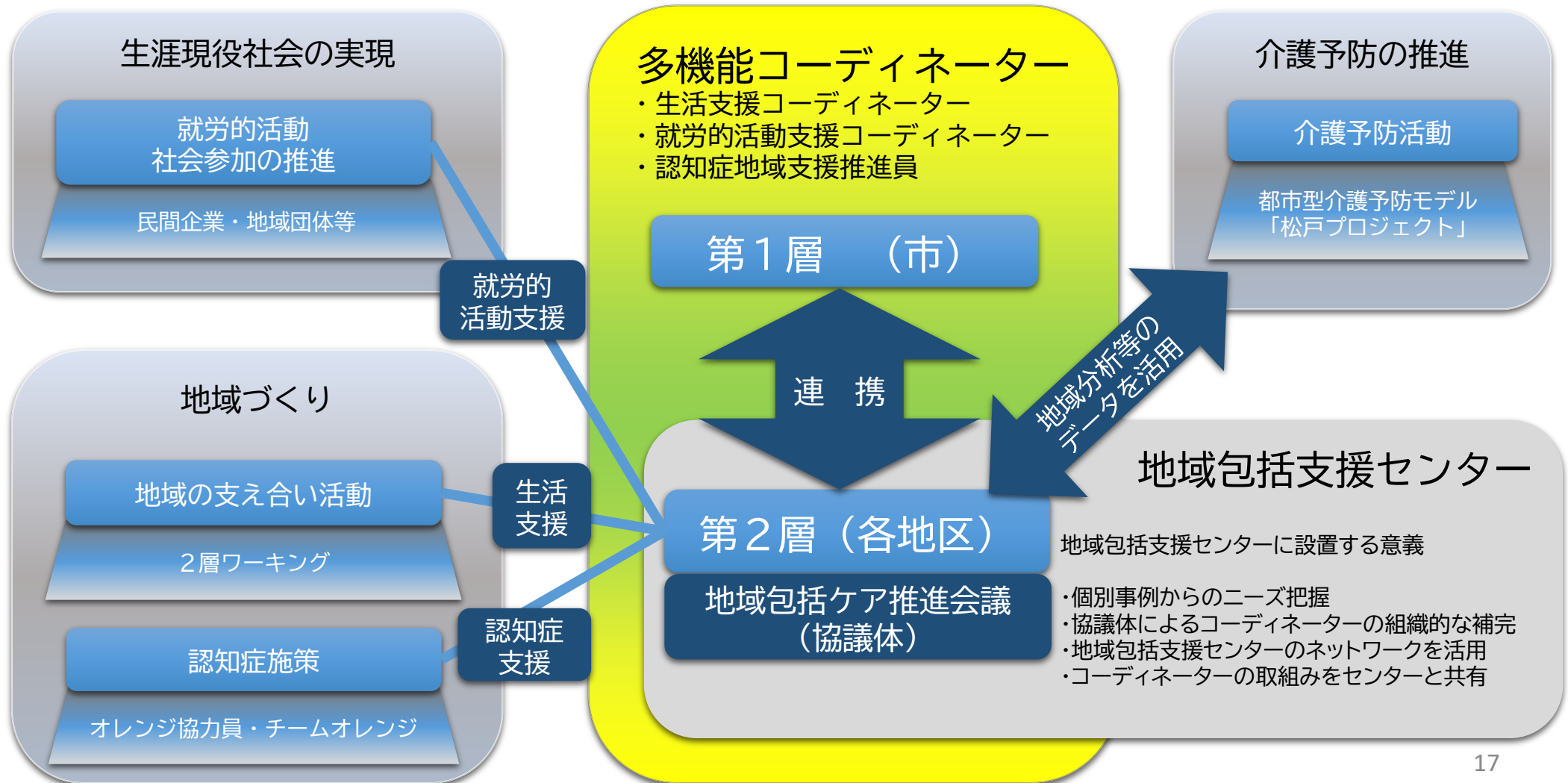
通いの場（元気応援くらぶ、シニアクラブ等）

都市型介護予防モデル「まつどプロジェクト」

柱2 地域包括ケアシステムの深化・推進 (柱1 生涯現役社会・健康寿命の延伸)

◆ 多様な生活ニーズに対する支援

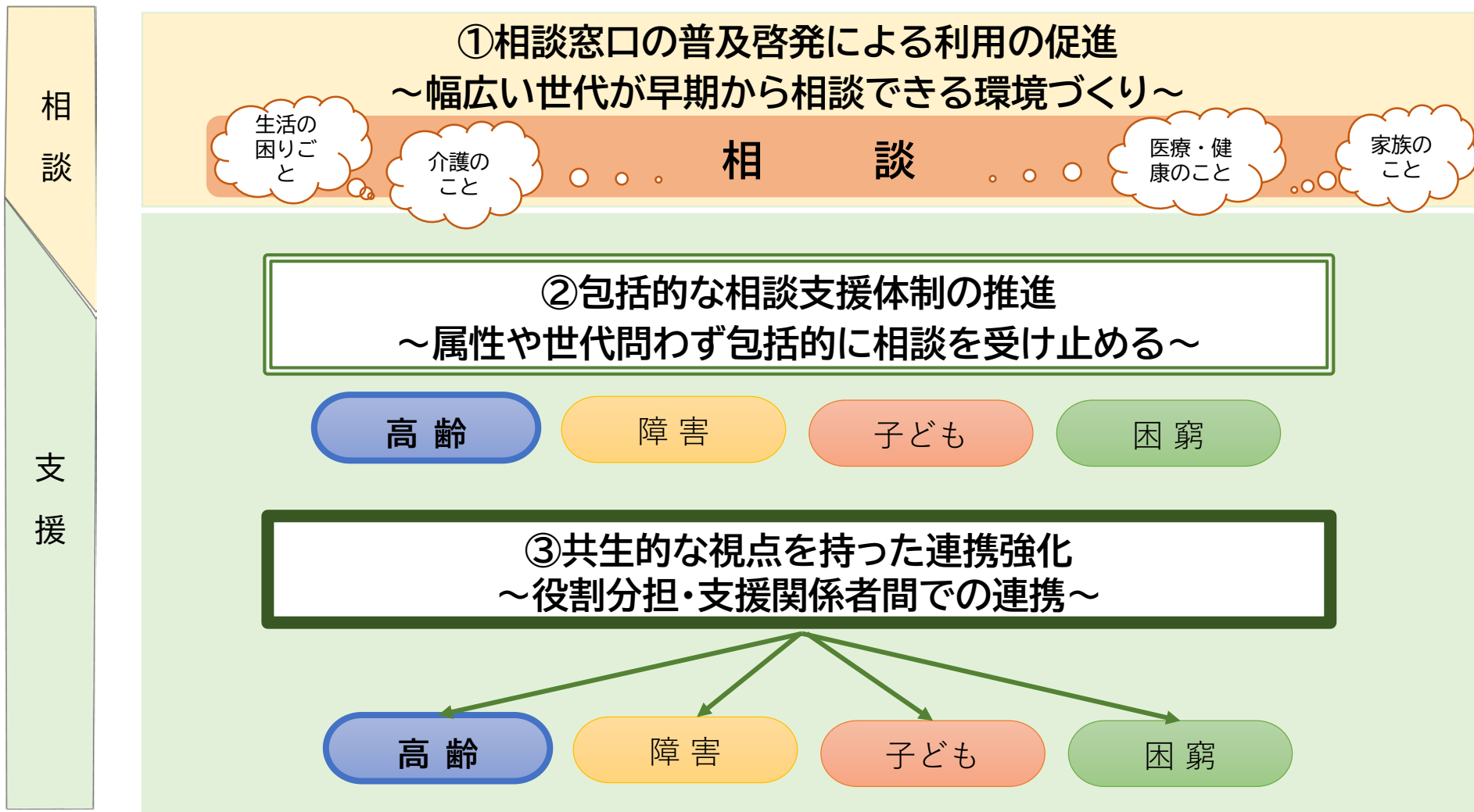
生活支援などの地域課題に対して多機能コーディネーターの調整機能を活かし、就労的活動支援、認知症への支援の視点も持ちながら既存事業との連携を図る。
 また、ボランティア活動、就労的活動、通いの場など社会参加を通じ、高齢者になっても可能な限り要介護状態とならない地域づくりを行う。



柱2 地域包括ケアシステムの深化・推進

◆ 包括的な相談支援体制の充実

複雑化・複合化した支援ニーズを抱えた世帯が増えていることから、地域包括支援センターにおいて、高齢者本人のみならず家族も含めた属性や世代を問わない相談支援を推進していきます。また、支援機関のネットワークを活用し、複合化した課題の解決を目指します。



柱3 介護サービスの適正な供給

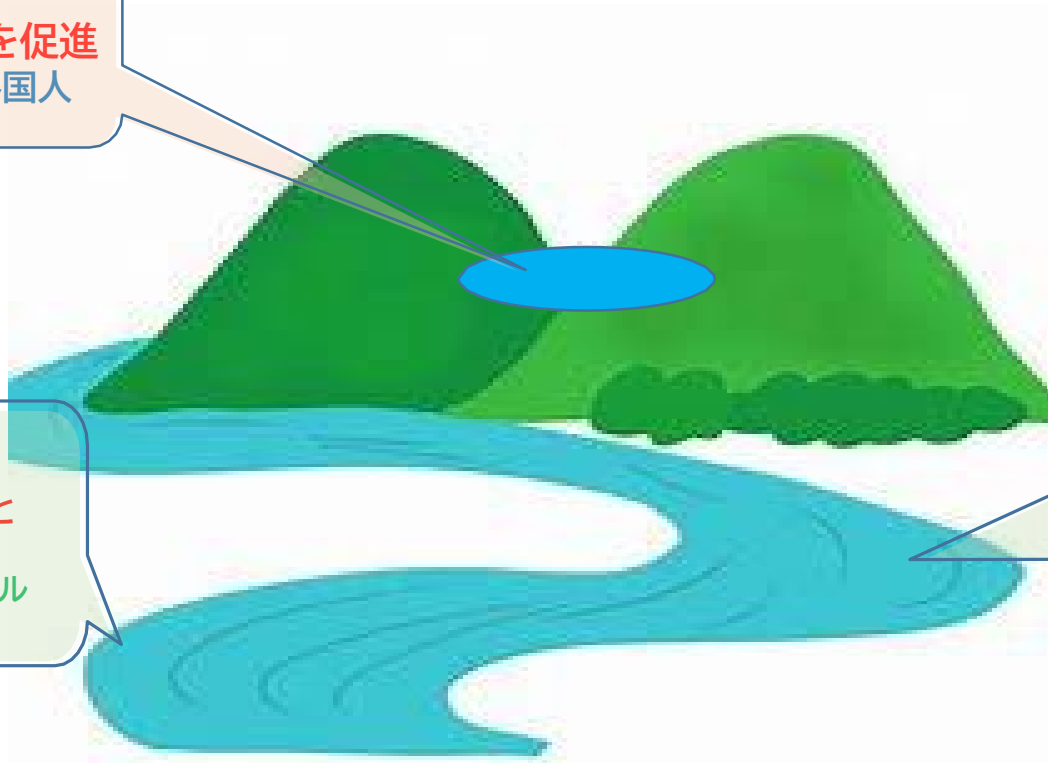
◆ 多様な主体の確保と生産性の向上

既に我が国では、人口減少が始まっており、人口構造の推移を見ると、2025年以降、「高齢者の急増」から「現役世代」である「生産年齢人口（15歳以上65歳未満）」の急速な減少へと局面が変化しつつある。 【2040年問題】

～川の上流と下流のようにそれぞれの状態に合わせた対策が必要～

方策（1）【川上対策】
多様な就労・社会参加を促進
①女性・②高齢者・③外国人

方策（2）【間接的対策】
介護需要そのものを減少させる
健康寿命の延伸、介護・認知症予防



方策（3）【川下対策①】
定着のための取り組み支援と
資質向上支援
労働環境・処遇改善支援・スキル
アップ・社会的評価の向上

方策（4）【川下対策②】
介護現場の生産性向上
事務の簡略化、
ワークシェアリング、
介護現場の業務効率化、負担軽減
(ICT (AI・ロボット等))

河川改修の鉄則『下流から上流へ』

水需要の逡減

健康寿命の延伸・介護予防

* 漏水の防止

離職防止 環境整備

* 少ない水（節水）

生産性向上による省力化

出典：久留善武氏 立教大学講義資料を一部改変